

三行詩 ～家族のきずな・命の大切さ～ 《2年生その1》

今日も生きていけたのは母のご飯があったから
今日も生きていけたのは父の仕事があったから
今日も生きていけたのは妹たちが笑顔で元気をくれたから
明日も生きていけるのは感謝しきれない家族があるから

私たち姉妹の変化に一番に気づき
相談を聞いてくれて私たちのために行動してくれる母
いつも「尊敬」と「ありがとう」

母が呼んでも二度寝、三度寝	自分の願いを
母がいない日に	いつもかなえてくれてありがとう
ありがたさを実感する	今後は自分がかなえる番

僕の父はいつも僕をしかる
でもそれは一番に僕たちのことを思っているから
感情表現が苦手な僕の父

おいしそうだなとつまみ食い	弟が入院
ちょっとしか食べてないのに気づく母	けんかはするしいつもうるさいけど
母の目はやっぱりごまかせない	なんだかんだいっていなくなったら
	寂しいんだな

学校でどんな絵を描いてもほめてくれる母	限られた睡眠時間
それをだまってトイレの壁に貼る父	いつでもどこでも母は
はずかしいけどちょっとうれしい両親の愛	私の夢の中をこわす

休校はうれしかった
でも毎日友達としゃべったり笑ったりしていたのがタブレットに変わった
それから気付いた やっぱり学校がいい

「なんかあった？」母に問われてびっくりする
だってなにかあったときにしか聞かれないから
それでも私は強がって「なんもなかったよ！」と返しておく
心配させたくないからね

平日は仕事 休日は送迎	もう話をする事ないけれど
帰っても家事で 母はずっと立ちっぱなし	心で伝えるよ ありがとうと
父との晩酌で 母はやっと一息つく	おじいちゃん
いつもお疲れ様です お母さん	